

取組をすすめるための主な指標

1. 食を大切にすることを育てるために	対象	基準 (H25)	目標 (H30)
市民農園等における体験メニューの機会	成人	3回	5回
下野市農業公社が行うアグリ体験補助事業に取り組む小学校及び認可保育園の広報紙及び市ホームページへの紹介記事掲載	小学校	0回	12回
	認可保育園	0回	5回
外部講師など専門職による「食に関する指導」を受けた学校数の割合	小・中学校	13%	25%
学校給食等で郷土料理や行事食を提供した回数	小・中学校	11回	22回
農産物直売所におけるイベントにあわせた郷土料理や行事食の試食会	店舗等	3店舗	9店舗
2 楽しく規則正しい食事習慣を築くために	対象	基準 (H25)	目標 (H30)
毎日朝食を食べる児童生徒の割合	小学4~6年生	94.4%	100%
	中学生	93.7%	100%
成人の朝食欠食率 (健康しもつけ21プラン)	成人	(H23) 全体 15.1% 男性 29.4% 女性 11.3%	(H29) 男性 15%以下 女性 10%以下
保育園、幼稚園等での食育教室実施回数		8か所 (H24)	10か所
3 下野市の食を活かした日本型食生活を推進するために	対象	基準 (H25)	目標 (H30)
「食事バランスガイド」を知っている人の割合 (健康しもつけ21プラン)	成人	47.2% (H23)	—
栄養のバランスを意識して食べる人の割合 (健康しもつけ21プラン)	成人	(H23) 男性 71.5% 女性 80.1%	(H29) 男性 85%以上 女性 85%以上
食事バランスガイドを活用している人の割合 (健康しもつけ21プラン)	成人	—	(H29) 男性 47%以上 女性 47%以上
しょうゆをたっぷりかける人の割合 (健康しもつけ21プラン)	成人	(H23) 男性 30.6% 女性 12.0%	(H29) 男性 20%以下 女性 10%以下
BMI 25.0以上の肥満の割合 (健康しもつけ21プラン)	成人	(H23) 全体 20.7% 男性 26.0% 女性 16.0%	(H29) 男性 20%以下 女性 13%以下
季節の野菜メニューの配布	店舗等	8店舗	20店舗、広報紙及び市ホームページ掲載
4 食の安全・安心に対する理解を深め、地産地消を推進するために	対象	基準 (H25)	目標 (H30)
エコファーマー認定者数 (作物別の延べ数)	農業者	370 (H24)	400人
学校給食における地域農産物の活用状況 (食材数ベース)	下野市産のみ	9.8%	11.0%
	栃木県産含む	20.9%	23.0%
下野市地産地消応援団認定数	店舗等	47事業所 (H24)	60事業所
とちぎの地産地消推進店	店舗	2店舗	5店舗
5 市民が主役の食育推進運動を展開するために	対象	基準 (H25)	目標 (H30)
とちぎ食育応援団の団員数	成人	8人	18人

※基準年度・目標年度はこれまで取り組んできた各計画の数値を参考にしました。

発行：下野市【庶務 〒329-0493 栃木県下野市田中 681-1 農政課】
http://www.city.shimotsuke.lg.jp (市外局番 0285)



下野市		下野市教育委員会
健康増進課	農政課	学校教育課
TEL (52) 1116	TEL (48) 2143	TEL (52) 1118
FAX (52) 3712	FAX (48) 1424	FAX (52) 2624

「下野市食育推進計画 (第2期)」 平成26年3月

概要版

一人ひとりが健全な食生活を送り健康で豊かに暮らせるように、下野市では「下野市食育推進計画(第2期)」を策定しました。この計画に沿って食育の取り組みをすすめます。



カンピくん

計画の期間は、平成26年度から30年度までの5年間です

どのようなことをすればよいのでしょうか

家庭では

食育の基本的な場所である家庭で健全な食習慣や食事マナーを身につけましょう。

毎日、朝食を食べて適度な運動、十分な休養、睡眠をとり、規則正しい生活を送りましょう。



保育園、幼稚園、学校では

子どもたちは、給食などをおとして、友達と一緒に食の大切さや楽しさを学びましょう。

指導する場合は、各教科や総合的な学習の時間の中でも地元農畜産物や郷土の食文化を伝えたり、体験活動をおとして食への感謝と大切さを学ぶ機会を提供しましょう。



保護者の方々には給食の献立を利用した栄養教室を開催したり、食育だよりなどで情報を伝えましょう。

地域のみなさんは



自治会、育成会、食に関するボランティア団体の方々は、イベントや地域の行事の際に、伝統的な郷土料理を学ぶ機会を提供しましょう。

生産者、食品関連事業者、関係団体のみなさんは

生産者は生産履歴情報を表示しましょう。

食品関連事業者は品質や栄養成分表示等を行いましょ。

また、食や農に関する体験活動をする機会を提供しましょう。



基本理念

生涯を通じた食育活動をとおして、食の大切さを理解し、食に対する感謝の気持ちを深め、心身の健康と豊かな人間性を育みます

基本目標

基本理念を実現するために、5つの基本目標を定めました。この目標に沿って具体的な取り組みをすすめます。

目標1 食を大切にすることを育てます

食を正しく理解し、自然の恩恵で食料が作られていることや、食生活が多くの人の苦勞や努力に支えられていることを理解して、食を大切にすることを育てます。

主な取組

- ・料理教室や農業体験を増やします
- ・店頭では農産物の調理方法などを知らせます
- ・自分に適した食事を選ぶ力を身につけます
- ・学校給食を生きた教材として活用します
- ・学校と保護者を食育だよりなどで結びます
- ・郷土料理を見直します
- ・食品廃棄を減らします



目標2 楽しく規則正しい食事習慣を築きます

1日3食をきちんと食べることや家族で楽しく食卓を囲むことなど、楽しく規則正しい食事の習慣を築きます。

主な取組

- ・朝食を毎日食べる運動をすすめます
- ・家族で楽しく食卓を囲みます
- ・男女がともに協力して食生活づくりをすすめます



目標3 下野市の食を活かした日本型食生活を推進します

下野市内で生産される新鮮で多彩な食材を中心として、栄養バランスに優れた日本型食生活を推進し、子どものころから生活習慣病の予防を促進します。

主な取組

- ・3食きちんと食べます
- ・食事バランスガイドを活用します
- ・旬のメニューを伝えます
- ・減塩運動をすすめます
- ・子どものころから生活習慣病を予防します
- ・飲食店や小売店では栄養成分表示をしたり、メニューの提案をします



目標4 食の安全・安心に対する理解を深め、地産地消を推進します

食の安全・安心に対する理解を深めるために、生産履歴情報等の提供や農業体験等をとおして、生産者と消費者の顔が見える関係を作ります。

主な取組

- ・安全につくられていることを伝えます
- ・生産履歴や品質表示の情報を伝えます
- ・消費者と生産者の交流会を開催します
- ・正しい“食”を判断する知識を持ちます
- ・地産地消を推進する店を利用します
- ・飲食店や事業所で下野市産農畜産物をもっとたくさん利用します



目標5 市民が主役の食育推進運動を展開します

家庭・学校・地域等の様々な立場の方が協力しながら、市民が主役の食育推進運動を展開します。

主な取組

- ・食育に関する講演会や研修会に参加します
- ・自治会など身近な集まりで話し合います
- ・食に関するボランティアに参加します

